

<b>令和2年度 指定管理者施設管理評価シート</b>			<b>部課名</b>	福祉部高齢福祉課
<b>施設名称</b>	13	東京都台東区立特別養護老人ホーム台東	<b>指定管理者</b>	社会福祉法人聖風会
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		<b>指定期間</b>	R2.4.1 ~ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区台東1-25-5 [規模] 延床面積 21,236.85㎡のうち4,609.20㎡ RC造地上14階地下2階のうち4・5階部分 居室、個室、食堂、浴室、クリーンルーム、医務・看護室など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄・入浴援助))、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等 [自主事業] 自主事業は行っていない
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 49名 (内 訳) 施設長(1)、医師(嘱託7)、生活相談員(1←介護支援専門員を兼務)、介護支援専門員(2←生活相談員1名と介護職員1名が兼務)、栄養士(1)、機能訓練指導員(1)、介護職員(常勤21名うち1名は介護支援専門員を兼務、非常勤10)、看護師(常勤1、非常勤2)、洗濯場(非常勤3)、事務職員(1) (前年増減) 介護職員(-1)、ドライバー(-1)

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料(指定管理料)	49,062,000	49,062,000	41,527,800	41,527,800
	利用料金収入	242,730,000	251,658,745	247,860,000	263,127,258
	その他収入(利用者等外給食費収入)	1,158,000	10,111,774	13,332,200	4,676,372
	計	292,950,000	310,832,519	302,720,000	309,331,430
支出	人件費	200,890,000	212,929,408	202,280,000	212,150,078
	光熱水費	27,238,000	28,647,685	31,100,000	30,070,681
	維持管理費(委託料・賃借料)	22,230,000	22,801,094	23,100,000	23,304,776
	修繕費	1,400,000	1,301,570	1,400,000	2,030,893
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(サービス区分間繰入金支出)	41,192,000	49,865,339	44,840,000	45,385,977
計	292,950,000	315,545,096	302,720,000	312,942,405	
収支			-4,712,577		-3,610,975

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
入所定員(ショートステイ含む)	人	60	60	60	60

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用率(特養+ショート)	%	96	93.5	92.7	95.1
利用者数(特養+ショート)	人	21,024	20,474	20,291	20,893

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
—	

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
18 / 20 点	必要な事項について適宜情報共有がされており、全般的に適切な施設管理が行われている。また、感染症対策として、受付時の検温、消毒液での手指消毒勧奨のほか、面会の中止や安否確認サービスアプリを導入し、非接触を図るなど危機管理に努めている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	必要な有資格者を配置し、運営基準要件となる介護人材等も満たしており、施設管理に必要な各種研修を実施している。利用率の向上も見られ、一部課題はあるが、全体的に良好な事業運営がなされている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	日常巡回を行い、破損している機器や備品は適宜修繕を行っている。また、委託業者による日々の清掃に加え、特に感染症流行時期等は連携を図り、清掃・消毒を実施しており、施設の適切な維持管理に取り組んでいる。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	家族交流会を開催し、利用者や家族から直接ご意見・ご要望を聴取する機会を設けサービスの向上を図っている。利用者満足度調査について、職員の接遇面・設備面共に高評価を得るなど、概ね良好であった。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	利用料金収入は概ね見込み通りであったものの、介護人材確保のための紹介手数料の増により収支がマイナスとなった。法人での物品の一括購入や相見積もりによりコスト削減を図っており、全体的には適切な予算管理がなされている。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 92 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>利用者満足度調査の結果では高い評価を得ており、適切な人員配置など、良好なサービス提供が行われた。新規利用者の獲得のため、施設利用案内も積極的に行い、利用率も向上しており、全般的に適切な運営がなされている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>労働環境モニタリングの指摘事項の改善と人件費の増による収支のマイナスが課題である。今後、新規利用者の開拓や、人件費を含め、収支改善に努めるとともに、看取り体制の整備や介護技術の向上に取り組む必要がある。</p>